

# 複数武道種目授業

## 実践の紹介

### 「武道推進モデル校」事業を活用した 複数種目（柔道・剣道・なぎなた）の実践

岩手県釜石市立大平中学校  
副校長 青木 啓  
教諭 中野達也

本校は、岩手県釜石市東部の釜石港を北に望む岬の高台にある。平成23年の東日本大震災では、学区が津波によって甚大な被害を受け、体育館が避難所となった。その際、支援ボランティア活動に当たった本校生徒は、「地域に元気を届けたい」と考え、「大平ソーラン実行委員会」を立ち上げた。震災から10年が経過し生徒数は半減した（全校106名）が、生徒たちはコロナ禍においても、地域施設を訪問しソーランを披露するなど主体的に取り組んでいる。

今回はそんな本校における「武道推進モデル校」事業を活用した複数種目（柔道・剣道・なぎなた）の実践を紹介したい。



校舎全景

## 1 はじめに

本校では以前、武道授業として柔道と剣道を実施しており、私（中野）が赴任した平成29年度、本校には柔道着や剣道用防具・竹刀がそれぞれ40セットほど整備されていた。各学年の生徒数が40人弱という本校の実態から、用具を個人負担することなく授業が実施でき

ると判断し、当初は第1学年で柔道、第2学年で剣道を実施し、第3学年で武道選択授業を行おうと考えた。

しかし、体育館用具室で偶然2本のなぎなたを見つけ、かつてなぎなたの授業を行っていたことを知った。また、本校と国道を挟ん

で隣接する岩手県立釜石商工高校には、インターハイ出場の実績を持つなぎなた部があった。そこで、同校の大澤彩教諭に相談したところ、ご協力いただけることとなり、第3学年でなぎなたの授業に取り組み運びとなった。そうして平成29年度からは保健体育において、柔道、剣道、なぎなたの3種目の授業を実施してきた。前述のように、なぎなたの指導は釜石商工高校に支援していただいてきた。1年目は同校の大澤

教諭、翌年は実習助手の太田友美氏となぎなた部の生徒による指導支援を受けた。令和元年度から2年間は、岩手県なぎなた連盟の佐藤静子副会長と太田氏に指導していただいている。令和2年度は複数武道実践のモデル校に指定されたことにより、地域指導者1名を派遣してもらうこととなり、前年度まで指導者のボランティアに頼っていた旅費などを、県教育委員会に負担していただいた。



なぎなたの一斉指導



面を打つ



ペア学習



地域指導者による指導

武道学習の指導計画

|       | 1         | 2                                 | 3 | 4 | 5 | 6               | 7 | 8 | 9 | 10 |        |
|-------|-----------|-----------------------------------|---|---|---|-----------------|---|---|---|----|--------|
| 学習の流れ | オリエンテーション | 導入（準備運動、礼法、健康観察、本時の流れ・目標・課題・課題解決） |   |   |   |                 |   |   |   |    | 学習のまとめ |
|       |           | 前時の復習・確認                          |   |   |   |                 |   |   |   |    |        |
|       |           | 柔道着の着方<br>基本動作（固め技）・受身            |   |   |   | 基本動作（投げ技）・受身    |   |   |   |    |        |
|       |           | 対人的技能の習得（固め技）                     |   |   |   | 対人技能の習得（投げ技）    |   |   |   |    |        |
|       |           | けさ固め 横四方 上四方                      |   |   |   | 膝車 支え釣り込み足 体落とし |   |   |   |    |        |
|       |           | 整理運動・振り返り・本時のまとめ                  |   |   |   |                 |   |   |   |    |        |

表1・第1学年「柔道」

|       | 1         | 2                                 | 3            | 4 | 5 | 6 | 7        | 8 | 9 | 10 |
|-------|-----------|-----------------------------------|--------------|---|---|---|----------|---|---|----|
| 学習の流れ | オリエンテーション | 導入（準備運動、礼法、健康観察、本時の流れ・目標・課題・課題解決） |              |   |   |   |          |   |   |    |
|       |           | 前時の復習・確認                          |              |   |   |   |          |   |   |    |
|       |           | 基本動作                              | 剣道具のつけ方      |   |   |   |          |   |   |    |
|       |           | 構え 足さばき<br>体さばき 声<br>素振り 間合い      | 1 本打ちの技      |   |   |   | 2 段技・引き技 |   |   |    |
|       |           |                                   | 面打ち 胴打ち 小手打ち |   |   |   | 小手→面 引き面 |   |   |    |
|       |           | 整理運動・振り返り・本時のまとめ                  |              |   |   |   |          |   |   |    |

表2・第2学年「剣道」

|       | 1         | 2                                 | 3 | 4                        | 5 | 6             | 7 | 8             |            |  |
|-------|-----------|-----------------------------------|---|--------------------------|---|---------------|---|---------------|------------|--|
| 学習の流れ | オリエンテーション | 導入（準備運動、礼法、健康観察、本時の流れ・目標・課題・課題解決） |   |                          |   |               |   |               | 発表会・学習のまとめ |  |
|       |           | 構え 自然体<br>・中段に構える                 |   | 構え 自然体<br>・八相に構える        |   | しかけ応じ<br>・1本目 |   | しかけ応じ<br>・2本目 |            |  |
|       |           | 体さばき<br>・送り足 継ぎ足（前・後）             |   |                          |   |               |   |               |            |  |
|       |           | 振り<br>・上下振り                       |   | 持ちかえ<br>・側面を打つ<br>・すねを打つ |   | ペア学習          |   |               |            |  |
|       |           | 打つ<br>・面を打つ                       |   |                          |   | ミニ発表会         |   |               |            |  |
|       |           | 整理運動・振り返り・本時のまとめ                  |   |                          |   |               |   |               |            |  |

表3・第3学年「なぎなた」



すね打ち

さまざまな武道種目を経験することによって、生徒がその楽しさや考え方を知り、武道に対する興味・関心が高まるとともに、スポーツに対する視野を広げ生涯体育を行う授業時数を割り当てた。

学習計画では、第1学年で柔道を10時間、第2学年で剣道を10時間、第3学年でなぎなたを8時間行う授業時数を割り当てた。

入学前に武道を経験している生徒は問わず、すべての種目に初めて触れることになるため、学習環境と生徒の安全を第一に考えたうえで、基本動作の習得を中心において単元計画を立てた。

3種目の関連について、「礼法」に関しては柔道の学習を、「用具の扱い」については剣道の学習をそれぞれなぎなたの学習につなげようと考えた。上の表1～3が、3種目の単元計画である。

授業「第3学年「なぎなた」

(1) 授業の様子

種目に関する指導は地域指導者に任せ、活動環境の整備は教員が行うなど、役割分担を明確にした。

地域指導者は、丁寧な説明や具体的な動きのポイントを提示することを意識し、運動に対して苦手意識を持つ生徒も抵抗なく取り組むことができていた。また、指先まで意識して動作することを重視

し、必ず素足で授業を行った。

生徒は、なぎなたの学習を通して「相手を尊重する態度」「用具を大切に扱う姿勢」「感謝する気持ち」など、日常生活に通じる意識や考え方も学んでいた。また、「立礼」「正座」「座礼」など伝統的な行動様式に触れることで、静と動のけじめのある所作を体得することができた。

(2) 生徒の感想

・相手と息を合わせ、美しさを競うという経験がなかったので、少し難しかったけど、息が合うと楽しくて面白かったです。

・なぎなたの技は剣道と違い、小手がない代わりにすねがあることに驚きました。なぎなたのよいな長物は、小手を狙うより、すねを狙った方が当たりやすく、当たれば相手に相当な痛みを与えるので理にかなっていると思いました。

・なぎなたは剣道と違い、すねがあること、竹刀と比べて長いの

で扱うのが大変だと思いました。また、持つ位置が決まっていたり、手だけではなく体でなぎなたを押さえたりと、知らないことがたくさんあり驚きました。

・なぎなたは、礼法を重んじる武道であると感じました。なぎなたを持つ際のきまりや、歩き出す際の足の動きにまできまりがあることに驚きました。相手や自分が使う道具に敬意を払い、感謝する姿勢は、日常生活をはじめ、多くの場面で重要視されるのだと感じました。

日本武道館発行の単行本

学校武道の歴史を辿る

藤堂良明（筑波大学名誉教授 著） 四六判・上製 354頁・本体2400円＋税

江戸時代の藩学教育に遡る学校武道の歴史。明治維新を迎え武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度のなかに組み込まれ発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え「格技」として復活、平成20年には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。



◎ 日本武道館 ◎

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
http://www.nipponbudokan.or.jp





ミニ発表会

柔道、剣道、なぎなたの3種目の武道授業は本年度で5年目になるが、生徒の実態や心情を第一に授業を組み立ててくれる指導者の方々から、私自身たくさん学ばせていただいている。地域性を生かした取り組みとして、これからも継続していきたい。

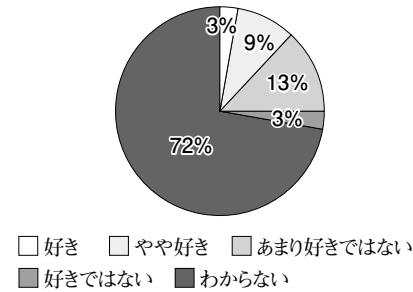
一つの種目をしっかりと学習することも大切であるが、さまざまな武道種目を幅広く体験することで、それぞれが持つ魅力を味わうこともまた、大切な学習ではないかと考える。

## 5 おわりに

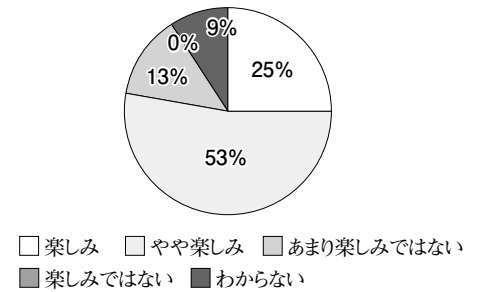
なぎなたに肯定的な意識を持つようになった。

「なぎなたをもっとやりたいです」という質問では、事後アンケートで91%が「授業以外でも行ってみよう」「もう一度授業でやりたい」と回答した。授業を通してなぎなたの持つ楽しさを体感し、この武道種目が持つ魅力に触れることができたようである。

なぎなたは好きですか

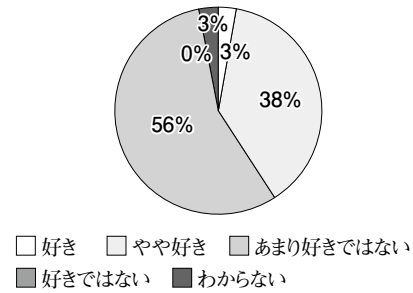


なぎなたの授業は楽しみですか

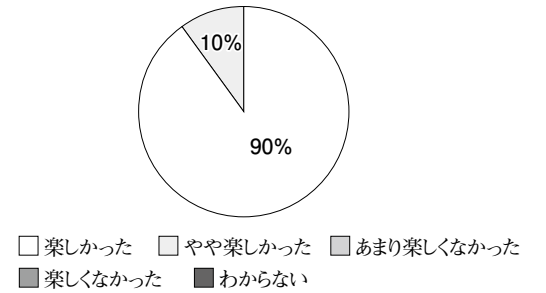


事前アンケート

なぎなたは好きですか



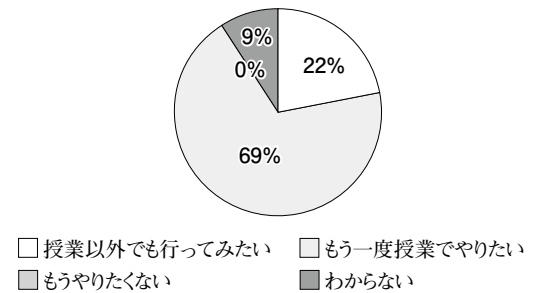
なぎなたの授業は楽しかったですか



事後アンケート

## 4 アンケート結果から

なぎなたをもっとやりたいですか



事後アンケート

・最初は技を覚えることができるかすごく不安でした。しかし、先生が一つ一つ丁寧に教えてくれたおかげで、覚えることができました。

・授業を受けてから、なぎなたの印象が変わり、またやりたいと思いました。

・「なぎなたをする人は、道具への感謝も忘れない」という教えに感心しました。考えを行動に移すことを大切にしているのがわかりました。

生徒への事前アンケートで、「なぎなたの授業は楽しみですか」という質問に対し、78%が「楽しみ」「やや楽しみ」と回答していた。なぎなたに対する興味・関心は持っていたことがうかがえる。

事後アンケートでは、90%の生徒が「楽しかった」と回答しており、種目の楽しさは実感できたようである。

「なぎなたは好きですか」という質問では、事前アンケートで72%が「わからない」と回答していたが、事後アンケートでは、94%が「好き」「やや好き」と回答した。授業を通して、ほとんどの生徒が

## 日本武道館の単行本

**死ぬまで弓道** 弓道教士七段 小牧佳世 著  
四六判・上製・342頁・定価2640円

競技中に急性大動脈解離に倒れた筆者は奇跡的な生還を果たす。その8カ月後に弓道を再開し、わずか2年後に皇后盃で十射皆中、優勝を果たした。本書では激動の自伝を記し、弓のあり方や「早気」など弓道家の誰もが陥る課題などを模索する。死の淵を覗き、現在も全身全霊で弓を引き続ける筆者だからこそ記せた弓道伝記かつエッセイ集。

**学校武道の歴史を辿る** 筑波大学名誉教授 藤堂良明 著  
四六判・上製・354頁・定価2640円

明治維新を迎え、武術は衰退したが、近代化の過程で武道が「人間形成の道」として学校制度の中に組み込まれ、発展した。太平洋戦争後に武道は全面禁止となるが、それを乗り越え、「格技」として復活。平成24年度には「中学校武道必修化」が実現した。学校武道の歴史を丹念に辿り、今後のあり方を探る。

**空手道 その歴史と技法** 小山正辰・和田光二・嘉手苺徹 著  
四六判・上製・548頁・定価2640円

空手は沖縄で発祥し、日本本土に伝承され、今や世界のKARATEとなった。その歴史と技法を、那覇系剛柔流の小山正辰氏、首里系松濤館の和田光二氏、沖縄空手研究の第一人者である嘉手苺徹氏の共同執筆で重層的に紐解く。嘉手苺氏が発見した剛柔流の開祖・宮城長順の最新の事実、小山・和田の高世界チャンピオンのエピソードなども満載。空手の真髄に迫る白眉の一作。

**武道の礼法** 弓馬術礼法小笠原清忠三十一世宗家 小笠原清忠 著  
四六判・上製・282頁・定価2640円

「時、所、相手」に応じた正しい生活態度として現れる礼法。礼法の歴史を伝書をもとに詳述し基本姿勢、動作などを連続写真やイラストとともにわかりやすく解説。小笠原流宗家が直々指南の礼法解説書。

**マンガ・日本武道風土記** 漫画家・別府大学客員教授 田代しんたろう 著  
B5判・248項・定価1100円

全国の「武道ゆかりの地」を実際に訪ねて、ペンとスケッチブックを片手に徹底取材。地元関係者や施設の学芸員とのやりとり、その土地の成り立ちをわかりやすくマンガで紹介。多数の資料をもとに丹念に描いた当時の風景も魅力の一つ。マンガの世界で日本各地をめぐる試み。

**幸せについて考えよう** 元衆議院議員・櫻樹会会主 小野晋也 著  
四六判・上製・394頁・定価2640円

この混迷の時代・社会において「武道」が果たすべき大きな役割とは、「様々な困難を乗り越え切り開く道具を持って、人生を雄々しく歩んでいく」という前向きの人生姿勢を一人ひとりに、そして社会全体に取り戻すことにあるのではないだろうか。

**合気道に生きる** 合気道九段 多田 宏 著  
四六判・上製・402頁・定価2640円

昭和初期に生れ、戦後の早大生時代に植芝盛平、植芝吉祥丸、船越義珍、中村天風、日野正一の諸先生の教えを受け、合気道の稽古を生ずる道と志す。昭和から平成への激動の時代に、本部道場師範を務め、各大学に合気会を創設、自らの道場も主宰し、さらに欧州各国への普及に尽力。合気道に活きた泰斗の軌跡を余すところなく示す珠玉の一作。

**ご注文・お問い合わせ**  
(公財)日本武道館 月刊「武道」編集部  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158  
<https://www.nipponbudokan.or.jp>